

特定秘密保護法廃案のこれから

2013年12月12日
10:36

(1) 安倍首相の本音：密約の存在一世界のマネーを支配するビルダーバーガーとの約束

(a) 世界の金融業界を支配するビルダーバーガー

ロックフェラー家やロスチャイルド家に代表される国際金融資本が18世紀以来ヨーロッパや北米の金融業を支配してきました。第二次大戦後の1946年イギリスの王立国際問題研究所（別名チャタムハウス）のユゼフ・ヒエロニム・レッティンゲルが「欧州各国が主権を放棄する事で一つの連邦を創出すべきである」との演説をしました。1954年5月29日～31日にオランダ・オーステルベークのビルダーバーグホテルで第一回の会議が、オランダのベルンハルト殿下を議長とし、レッティンゲルを事務局長として開催されました。レッティンゲルの主張する欧州統合を最終の目標とし、大西洋地域の信頼回復とビジネス面での協力関係を深めるのが目的でした。この時、アメリカと欧州との和解がなされ、欧州の財閥や施政者とアメリカの政治家や多国籍企業が主導し、いわゆる「世界新秩序」なるものが形成されて行きました。その後この会議は毎年欧米の各都市で開催され今年（2013年）は6月6日～9日までロンドン近郊のワートフォードのグローブ・ホテルで開催されています。参加者はベアトリクス・オランダ王妃、H・キッシンジャーやGoogle会長のシュミット・エリック等、議長はAXAグループの会長兼CEOのカストリーズ・アンリでした。（参加者の詳細については添付しましたPDFをご覧ください。参加会員は通常130名前後で構成されています）

(b) ドイツの経済学者ウエルナー・ゾンベルトは資本主義の重要課題として次のように述べています

「資本主義を成立させるのものは3つある。①ユダヤの才能 ②戦争 ③恋愛と贅沢 である」と。

① **ユダヤ人の才能とはマネーを創り出すことです。**ベニスの商人に描かれるように人間の血さえも当然のように金に換えて行きます。この代表はロス・チャイルド家でしょう。フランクフルトのユダヤ人ゲッターでの金貸しから始めた金融業は、5人の息子達によって、一時はすべてのヨーロッパにその網の目を張り巡らせていました。19世紀に入って3男のネイサン・マイヤー家（ロンドン）と5男のジェイムズ・マイヤー家（パリ）だけが残り残りましたが、その後の両家の金融資産は世界中を巡ってその利ザヤを拾い集めています。

（ロス・チャイルド家を語るだけで、数冊の分厚い本になってしまいますのでここでは止めますが）

ビルダーバーガーが支配する金融の世界は決して一か所に止まること無く、世界を還流し、その流れが止まらない限りは、延々と利潤を生み続けます。世界の人口の99.99%の人々は彼らにその甘い余剰を吸い取られています。僅か0.001%の人々が地球上の経済の流れの動向をマネーを使う事によって支配しているのです。

② **戦争** これは云うまでもなく軍産複合体であり、ロッキード・マーティンやボーイングそれにノースロップ・グラマンなどの航空会社、日本の三菱重工や川崎重工等もこれに入ります。そして絶対欠かすことが出来ないのがエネルギー産業であり、更に巨大な核兵器であり原子力なのです。アイゼンハワーの言う「原子力の平和利用」等と云う実しやかな策略に易々と乗ってしまっただけが日本です。ここでは決して正力松太郎は見逃す事は出来ません。何も知らない政治家達を尻目に日本をどうしようもない悪夢の世界へ叩き込んだのですから。安倍はさらにそれに輪をかけてインドやトルコ、ハンガリーなどに売り込みつつあります。

③ **恋愛と贅沢** 我々はこの人間の欲望をくすぐる戦略にウマウマと嵌っています。LVMHの会長ベルナール・アルノー（1949～）は世界のファッション界を支配しています。LVMHとはルイ・ヴィトン&モエ・ヘネシーの事であり、クリスチャン・ディオール、タグホイヤー他殆ど一流と云われるブランド企業を手に入れています。

この①②③はすべて金と人脈が完全に連携され、欧米の主要国の政治家達は殆ど影響下に置かれて、すべての言動は彼らに深く関与せざるを得ません。何故なら政治家としての生命線はすべて彼らに握られているからです。ただオバマ大統領は彼らに正面から反旗を翻（ひるがえ）しています。それ故にオバマ政権には思い通りに行かない案件が山積されています。

(c) 何故、安倍晋三がこのビルダーバーガーと関係があるのか

漸くここで本論に入ります。日本人はこれまでビルダーバーガーとして招待された人は誰もいません。

オブザーバーとして無口な傍観者として招待されたのは数人いたという事は耳にしますが。

始めて公式に招待されかけたのが宮沢喜一氏でした。ロックフェラー兄と親交を深めていた宮沢氏でしたが、しかしこれもヨーロッパのビルダーバーガー達によって拒否されてしまいました。それを気の毒に思ったロックフェラーが代替案として作らせたのが三極委員会（The Trilateral Commission）でした。

1973年に設立され、ニューヨーク・ブリュッセル・東京に三極本部があります。

今回の特定秘密保護法を何故安倍晋三は躍起になって成立を目指したのでしょうか？

その原因の大きなヒントは、デビッド・ロックフェラー・ジュニア夫妻が来日し、安倍昭恵夫人と一緒に和歌山へ旅行した事でした。2013年11月9日の事です。「安倍昭恵首相夫人が9日、和歌山県有田町の棚田を視察し、棚田の文化的意義や、農家の高齢化が進み全国的に活用が難しくなっている現状の説明を受けた。昭恵夫人は「中山間地域を諦めるのではなく、本当に豊かな暮らしの見本になってほしい」と述べた。」と産経ニュースに掲載されていました。



右の二人がロックフェラー・ジュニアと妻のスーザンさん。

安倍夫人の反原発の言動は安倍首相の頭の痛い事でした。この時すでに安倍はビルダーバーガーサイドからの密約を行っていたようです。

【円/ドル為替レートを円安へと戻す・その代償として原発を世界に売り込む】

という密約です。彼の一族（岸・佐藤・安倍）は安保の頃から日本国民には目を向けず、又世界の善意の人々にも耳を傾けず、ひたすら欧米の権力者達と繋がりを持つことのみを主眼として来た家系です。それは日本という国を良くするためではなく、自らの家系を繁栄させるという悍（おぞ）ましい発想でしかありません。

安保の時は日本中が反安保で揺れていました。国会議事堂周辺は連日のデモで人垣が幾重にも続き、シュプレヒコールを繰り返し、機動隊の放水車と全学連の旗竿での戦いが続いていました。そして最後（1960年1月26日）には東大生の樺美智子さんが、国会の衆議院入り口で押し潰されて亡くなってしまいました。（母・光子による遺稿集『人しれず微笑まん』）。その後の日本の政治はどう変わったでしょうか？

何も変わってはいません。相変わらず馬鹿な政治集団達の作り上げた永田町の夜の政治因習よって、好き放題にされてしまっています。本当に日本の将来を愁いている人達の声は何処にも届いてはいません。

(d)安倍首相が就任すると確定した昨年末からの円/ドル為替相場の推移を見てみましょう。

<安倍首相の登場からの円/ドル為替相場の推移と日経平均の推移>

(図1) <円/ドル 一目均衡表>



FXマネーパートナーズより (12/10/2013)

2012年11月まで続いて来た76円～85円近辺を行ったり来たりしていた円ドル相場が安倍自民政権が誕生する直前から早くも下落（FXのグラフは円安を上昇させて表示されます。左側の縦線が円・下の線が日付です。ローソクのような棒が実質の価格です）し始めています。経済用語でのファンダメンタル（基本的経済状況）は野田政権と全く変わっていないのに、何故、「安倍」という言葉だけでグラフが上昇を始めたのでしょうか？2013年4月以降はすでに100円を頭にもみあい状態がずっと続いて来ました。100円が頭だと常識のように云われ続けたのがこの秋までの事です。100円がもみあいの頭とする感じ方は日経平均（図3）にも顕著に表れ、15000円を挟んだもみあい状態が続いていました。

しかしこの程度では安倍が望むパフォーマンス評価を得る事は出来ませんでした。TPPやシリアをほったらかしにして、インドや中東まで出かけ、トルコ、ハンガリーと原発売り込みに成功させたという意識が強くありました。もう一息バックアップの勢いが欲しいと思っていた頃にロックフェラー氏が来日し、FRBの理事（ビルダーメンバー）が安倍と会談しに日本へやってきました。これが11月20日頃でした。そこから一気に円安が加速し、100円の壁を突き破り、今は102円～103円を行ったり来たりしています。

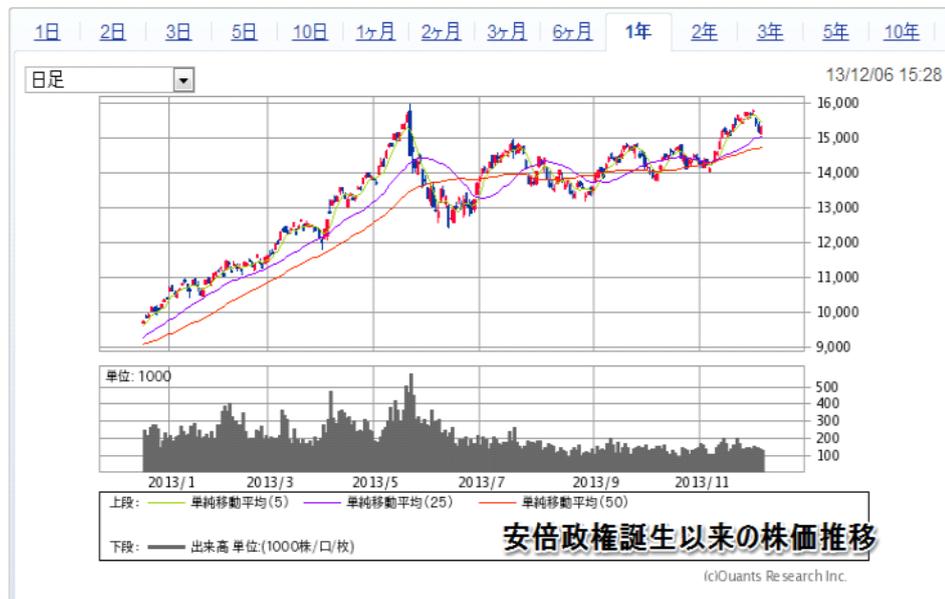
(図2) <円/ユーロ 一目均衡表>



FXマネーパートナーズより(12/10/2013)

円/ユーロも殆どその傾向は円/ドルと変わりません。最高値94円~110円位で推移していたものが、130円台でもみ合い状態、そして11月下旬から一気に140円を突き抜けました。

(図3) <日経平均株価推移>



SBI証券より(12/10/2013)

昨年末10000円以下だった株価は年始には10800円から始まり、5月には早くも15000円を突き抜けました。その後14000円~15500円位で推移し11月末には16000円に届くかと思われましたが、このところ15500を境にもみ合い状態です。日本経済は輸出で支えられていますが、多くの一流企業は拠点を海外に設けて、為替によるリスクをヘッジしています。今では為替変動による利益率はそれ程影響を受けなくてすむような構造へと変換しています。この図3でも判る様に年初から5月頃まで活発だった株取引の総体は縮小しています。これは海外からの投資マネーが減少している事を指し示しています。5兆円を超えていた出来高が秋になってからは1兆円から2兆円と激減しています。海外の大手ファンド（ビルダーバーガーが圧倒的に多い）は実質日本の相場からは引き揚げています。これは為替に対するマネーサプライ（供給）は応援するが、株価までは面倒は見ないよ、というバーガー達からの意思表示と取れます。現在株に投資されている海外からの資金は精々年金資金程度だと理解した方がいいでしょう。私は15000円を超えている間に処分された方が賢明だと思います。半年で何のファンダメンタルズも変わらないのに50%も平均株価が上昇すること自体異常だと思えません。強制バブルとでも云っておきましょう。ビルダーバーガー系列のゴールドマン・サックスやJP・モーガン等が投じた額は総額で100兆円程度でしょうが、ここでも少なくとも30兆円程度の利益を得ている筈です。

ダニエル・エスチューリン著の「ビルダーバーグ倶楽部」によると

「ビルダーバーグは各回の中央銀行を「所有」しているので、公定歩合、マネーサプライ、金利水準、金価格、融資対象国など

を決められる立場にある。だから、金融市場を一方的に、そして思い通りに動かし、好きなだけ利益を上げる。これがまさしく資本の論理と権力欲だ。

1954年以降、ビルダーバーグは常に全西欧諸国のエリートと無限の富 … 金融家、産業人、銀行家、政治家、多国籍企業のビジネスリーダー、大統領、首相、財務相、国務長官、世界銀行やIMFの幹部、巨大複合メディア企業のトップ、軍部の首脳 – の総代であり、いわば「影のグローバル政府」だった。そして、世界戦略について話し合う場を設け、多岐にわたる重要な政策をまとめ上げてきた。アイクと呼ばれたドワイト・アイゼンハワー以降、歴代の米国大統領はいずれもビルダーバーグに属していた。

そのほか、主な著名人を挙げると以下ようになる。

トニー・ブレア英国首相ほか英国政府の主だった閣僚、リオネル・ジョスパン元フランス首相、ロマーノ・プローディ前欧州委員長、マリオ・モンティ欧州委員（競争政策担当）、パスカルニフミーWTO事務局長・元欧州委員（貿易政策担当）、ホセ・M・ドウラン・パロツ欧州委員会委員長、アラン・グリーンズパン前米国連邦準備制度理事会FRB議長、ヒラリー・クリントン、ジョン・ケリー、スウェーデンのアナ・リンド外相（二〇〇三年に暗殺）、メリンダとビル・ゲイツ夫妻、ヘンリー・キッシンジャー、ロスチャイルド財閥、ジャン・クロード・トリシエ欧州中央銀行総裁、ジェームス・ウォルフエンソン前世界銀行総裁、ハビエル・ソラナ前EU理事会事務総長、ヘッジファンド界の超大物ジョージ・ソロス、欧州の全王室。」等などとなっています。

(但しマーガレット・サッチャーそしてオバマ大統領はこの中には含まれていません。敢然と権力者達に立ち向かって行った、あるいは行っている2人です。)

さてビルダーバーグの話は尽きません。私は決して反ユダヤ主義ではなく、多くのユダヤ人の方達の知能には敬意を持っており、アインシュタインを始めP・F・ドラッカー氏など素晴らしい頭脳をお持ちの方は沢山いらっしゃいます。しかしビルダーバーグの中で共有されている特権意識だけは我慢が出来ません。シオニズムで世界を席巻しようなどという前近代的な思想は無くなりつつありますが、それでも彼らの心の根幹にあるのは差別と人間性の欠如（社会の底辺の人々を切り捨てる）という、人間としてもっとも重要な規範の欠如が決定的に支配しております。ゲーテがファウストにしかけた罠に何の疑いもなく嵌りこんでいるのがビルダーバーグ達といえるでしょう。安倍晋三も正しく魂を売り渡した一族の末裔です。夢だった世界の支配層に食い込む為の布石として取った今回の特定秘密保護法と原発の売り込み、という道の選択肢については、皆さんもある程度その可能性にお気づきになられていた事と思います。出来ればその先にあるモンサント等を中心とした食物による人間世界の肉体への支配等についても言及したいのですが、紙面がいくらあっても足りませんので、今日の処は一旦終わらせて戴きます。又、次回にその詳細と、安倍晋三のパーガー達との更に突っ込んだ情報等をお知らせさせていただきます。彼を法廷に引きずり込む事も可能だと思っています。更に世の常として日本とアメリカの1960年代の常識として、安全保障条約締結時にも密約なるものがあつたと云われております。樺美智子さんの命と引き換えに為された何かが岸の手によって・・。

(2) これからの私達の執るべき戦略

(a)先月皆様から戴いた署名簿は僅か1週間という限られた時間しかありませんでした。にも拘らず2500筆にも及ぶご賛同を戴き、心より感謝申し上げます。期日後に届いたものは残念ながら提出できませんでしたが、すべて衆議院議員・照屋寛徳氏と参議院議員・福島みずほ氏を通じて国会に請願書として提出させて戴きました。（これらはホームページにてご報告させて頂いた通りです）。しかしながら国会運営はすでに民意を汲み取ろうとする意志はないようです。過去も現在も日本の政治は形骸化してしまい、善意に溢れ、将来の日本の有るべき姿を憂う人達にとっては、暖簾に手押しするような無力感をお持ちになった事ではないでしょうか。私自身もそうでした。今回皆様から寄せられたメッセージの中には、「今の様な日本の政治を根幹から変えて行かなければならない」というメッセージも多く見られました。政治を離れた処から冷静に見つめる事が出来る我々国民から見れば、国会でのやりとりや駆け引きにみる茶番劇に、本当にうんざりされておられる方も少なくないという実感がひしひしと伝わってきました。

(b)私達のNGOというのは本来非政府組織として、このような国民の皆さんの声を集約して、現実社会の中へ政治や行政を介さずに、市民の手だけによって社会を変えて行く事を主眼としております。しかし残念ながら日本の多くのNGOはその組織を維持する為に、行政や企業から多くの献金を受け、その活動は市民の思いから遠く隔たつたところで蠢いております。又、日本でのNPOは設立からその姿が歪められ、政治活動そのものが認められてはいません。

私達が今原発を廃止させる為の喫緊の課題として取り組んでいる「国際市民裁判所」の設立の中へこの「特定秘密保護法廃止」も入れさせていただくことと致しました。「特定秘密保護法」は何としても廃案に持ち込みたいと考えています。ドイツでは従来の秘密保護法はこれからの情報が多様化する中で、市民やマスコミからの情報漏洩に関してはその法制度を緩める方向に動き出しています。昨年3月には報道の自由強化法が成立しジャーナリストを漏えい罪の対象から外しています。自由に市民自らが発言し発信して行く事を認めなければ真の自由とは言えないと政府そのものが気づいているようです。日本とは真逆の方向へ国民のすべてが視点を投げかけ始めているようです。フランスでも報道の自由を促進する為の法案をオランド首相みずからが議会へ提出しております。これが本来の民主主義のあるべき姿だと私達も痛感しております。言葉だけで「そんなことはありません」と安倍や森大臣に云われたところで、それを担保する法文が何処にも明記されていない以上、これらの虚言は何の意味も持ちません。憲法9条の上に自衛隊を合憲とするような国家が日本ですから。

政治に頼らず、政府に違法性を迫る事が出来ない様な司法にも頼る事が出来ない今、私達市民の自らの手でこの法案を廃案にし、本当の市民社会を構築して行くには、この戦略しかなさそうです。ヨーロッパにおける情報管理への考え方が変化を来している今こそ、世界中の皆さんからのご賛同を戴き、「**廃案へのご署名**」を今度は本格的に集めさせて戴きます。前回の様に国会の会期の都合にあわせて急場を凌ぐようなものではなく、必ず日本の姿を変えるのだというお気持ちでご署名を集めて戴ければ、世の中は必ず変えて行く事が出来ます。目標署名筆数はとても多くなりますが、現在の日本を変えるには少なくとも数十万人程度は目標としなければなりません。この動きは選挙に1票を投じるよりも更に大きな意味を持つ事が出来ると信じております。そして第一回の国際市民法廷でこの「特定秘密保護法」に審判を下したいと思っております。

(c)やがて世界は一つになる時が来るでしょう。それまでには通貨という概念は無くなっているかもしれません。私達がビルダーバーガーのような財力と広範な人脈に対抗して行くには、世界中の市民が一体となってお金のいらぬ世界を築いて行くより他にその道はないでしょう。すでにドイツやアメリカでは市民の間で**お金のいらぬ暮らし**をされている方々もおられます。衣食住と仕事のすべてをシェアしあって暮らすスタイルです。実にスマートな生き方であり、心の豊かさを最優先とする人生の在り方を実践されています。貨幣の不要な時代を招来することが、必然的に富の集散を無意味とする事となり、結果としてビルダーバーガーの様な資産家の立場を根底から崩壊させて行く唯一の道と為る事でしょう。最も必要な事は地球市民としての連帯ができるという時代をつくることです。貧富の格差は壊滅し、誰もが平等な権利と義務と自由を共有し、日々文化や芸術活動に専念できるような人生を招来できると考えています。100年~200年位でそんな世界が現実となるのではないのでしょうか。この様な世界こそ地上に生きるすべての命が大切にされ、環境汚染や核の脅威から払拭され、宗教間の対立はなくなる時代になっている筈です。

ご意見・ご感想・お問い合わせ・等は下記ホームページの書き込みフォームからご記入下さいませ。
又、メールに直接ご返信いただいてもかまいません。

NGOs Civilian Platform JAPAN 西田博一 <http://www.sonegoro.jp> 12/16/2013
-copyright by NGOs Civilian Platform JAPAN Hirokazu Nishida all right reserved-